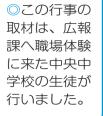




▲爆発物を用いたテロの発生を想定した「国民保護訓練」では、 自衛隊・警察・消防などが一体となって、万一の事態に備えた緊 張感のある訓練を行いました。

> 1月28日出/所沢航空記念公園 (撮影:市民カメラマン・池田敏明)





や保育園で職場体験をしました。 本を整理したり、園児と楽しく 遊んだり、みんな一生懸命がん ばっていました。

1月26日休/所沢図書館・西新 井保育園

(写真・文:中央中学校1年・ 加藤航希、奈良和真)

安全でおいしい野菜を子どもたちに

「陽子ファーム」園長 池田容子さん(城在住)

家族の健康を願って作り始めた野菜ですが、今では、地域の方をは じめ、市内のレストランやパン屋さん、イベントなどで多くの人たち が味わっています。「細く長く地道に活動を続けてきましたが、農園 を理解してくださる方が徐々に増え、地域に浸透してきたかなと実感 しています」と笑顔がこぼれます。「野菜を味わってくださる方の声 を聞くことが一番のやりがい」と池田さんが語るとおり、消費者と生 産者が栽培方法を理解し合い、『顔が見え、話ができる』関係をつく ることが地産地消の原点。その信頼関係が「食」への安心や、地域の 絆を強めることにつながっていきます。

「小さいうちから安全でおいしい 野菜を口にしてほしい」と、市内の 子どもたちの農業・職場体験など にも積極的に協力している池田さ ん。「陽子ファーム」で育てる野菜 に込める願いは、家族の幸せから所 沢の子どもたちの幸せへと広がりま す。その愛情たっぷりの野菜が、多 くの子どもたちに届くことを願わず にいられません。



▲愛情を込めた野菜を収穫する池田さん

ところざわ

歴史まめ知識



所沢市域にかかわる歴史的事項を50音順に紹介し ています。今号は「と」です。

所沢 今回は、「とこ ろざわ」という地名にま つわる「まめ知識」をご 紹介します。

所沢の名の由来は、「安松」や 「小手指」などほかの古い地名と同 じように、古いゆえに正確なことは よく分かりません。地名に関心を抱 いた後世の人々はさまざまに由来を 求め、郷土史への意識や時代の流行



▲江戸時代の所沢を描いた絵

を反映して多くの説が生まれました。植物の「野老」と「沢」を 組み合わせる説はもっとも広く知られています。この説に平安時 代の貴族在原業平を登場させる言い伝えは、明治44年に所沢小学 校が編さんした『所沢町郷土誌』での紹介が最初で、それより昔 の書物には見られません。当時の小学校が編さんした各町村の郷 土誌は、郷土愛を背景に、少しでも古くまた高貴な来歴を求める 傾向がありました。また、昭和30年代には「所沢の名はアイヌ語 のト・オロ・ベツ(沼を持つ川)に由来する」という新説が生ま れました。現在も単語の起源を他の言語に求めることが流行のよ うに浮上することがあり、この説もそんな一種の流行を背景にし ていたと思われます。なお「所沢」は、現在は「ところざわ」と 濁り、ローマ字表記では「TOKOROZAWA」と記されます。古 くは濁らない「ところさわ」が主流でした。

「ところさわ」の名が始めて文書に現れたのは鎌倉時代末期で、 平長家という人物の領地として登場します。室町時代には京都か ら来た道興准后という僧がその紀行に「野老」の文字を用い、戦 国時代に青梅御岳山に奉納された太刀にも「野老沢住人」の銘 が残ります。江戸時代に入ると、徐々に「所沢」という表記に比 重が移る一方で、「野老沢」は一種の文学的な雅語として存続し ました。そして明治以降、町名の表記は「所沢」で固定されます。 地名は時代のさまざまな様相を映し出しています。

問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ **2**2991-0308 **2**2991-0309

-マ「名前」

真・原稿は返却しません▶住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記し〒359-8501広報課「みんなの広場」係へ郵送または ⊠hiroba@city.tokorozawa.saitama.jp